



「ナカノさん」に 込めた思い

毎年約3万人が転出入し、約120の国籍を持つ方が暮らす中野。さまざまな文化や価値観が共生する多様性が魅力の一つだと言えます。無垢な人形の目を通して、その魅力を多くの方に分かりやすく伝え、愛着を持ってほしい。そこで登場したのが球体関節人形の「中野大好きナカノさん」。SNSなどで中野の魅力をみなさんと発信するため、ナカノさんは全ての世代に親しまれるよう制作。その生みの親、清水真理さんに、ナカノさんに込めた思いなどを聞きました。

▲ナカノさんを手にする清水真理さん

シティプロモーション係 / 4階
☎ (3228) 5467 FAX (3228) 5645

親しまれるために
ナカノさんが
世代を超えて

見る人によって関係性が変わるように

全ての世代に親んでもらえるよう「高齢者から見たら孫に、親世代から見たら子どもに、子どもから見たらきょうだいに見えること」を意識して制作しました。

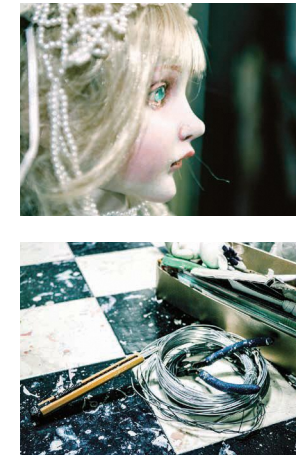
今まで人形に接する機会がなかった方にも身近に感じてほしい。そのため、中性的で美しい見た目を持たせつつ、親しみを感じやすいようあえて口元にほころを付けるなど工夫しました。普段の制作にはない考え

方なので、とても苦労しました。

母親のような感情で送り出したナカノさん

人形には「制作中に生命が宿る瞬間」がありますが、その瞬間は人形によってさまざまです。ナカノさんに生命が宿ったのは「瞳に色が入った瞬間」でした。ただの材料や物体ではなく、「これから中野区の多様な魅力を伝えるために社会で活躍していく」という個としての決意が見えた気がして、そんな姿を見ると、どこか親のような感情が芽生えました。長

中野は誰もが
新しいことに
挑戦できるまち



清水さんの人形制作は、設計図の作成から衣装を着せるまでおよそ10工程。60時間を要します。繊細な作業ですが、カッターやはさみなど私たちの身近な道具を使用。幼少期から人形が大好きで、当時の人形作りの経験が、今でも活かされています。

い間制作に携わりましたが、送り出す時に抵抗はありませんでした。私が地方出身ということもあり、例えるなら「育てた子どもの上京を優しく見守り、送り出す母親」のような感情でした。みなさんに愛されてほしいなと思っています。

可能性を広げてくれるまち

中野はとにかく多様。そんな風土が何か新しいことに挑戦する、始まりの地として良い環境を作り出していると思います。地方出身の私の友人が中野でファッション雑貨の店を立ち上げていますし、私も学生時代中野ブロードウェイで作品を販売し

ていました。無名な状態からでも挑戦できる中野は、可能性を広げてくれるまちですね。

また、他では見られないようなニッチ(隙間)な文化が発信されるのも、中野ならではの。例えば人形になりたいという若者のため、人形の関節が印刷されたストッキング等が売られています。新しい美の価値観、流行の発信地になっていることも、始まりの地であることの裏付けかもしれませんね。

これからも多様な中野であり続けてほしい

人形が愛される社会はきっと、心に余裕のある平和な社会。ナカノさんが中野のまちを旅し始めて1年以上が経ち、たくさんの人と触れ合う様子や多様なまちの姿を、情報発信を通して見てきました。

これからもナカノさんとともに多様性があり、流行の発信地のような中野であり続けてほしいです。

// 清水真理さん プロフィール //



人形作家。人形教室アトリエ果樹園主宰。美術大学卒業。制作した人形が映画や舞台で使用されるなど、幅広く活動

中野大好きナカノさんとは



▲区内飲食店で弁当をお持ち帰るナカノさん

無個性な人形の世界から中野に憧れてやってきた、存在自体が多様性を感じさせる球体関節人形。身長は44cm。ナカノさんを通して日頃区政への接点や関心のない方にも情報を届けたいという思いが込められています。ナカノさんを自由に活用して、みなさん自身で中野にしかない魅力を発信してください。



SNSもフォローしてね

InstagramやTwitter、Facebookで情報発信中。SNSで「中野大好きナカノさん」と検索してください。

区HPからもフォローできます



次ページへGO!!

